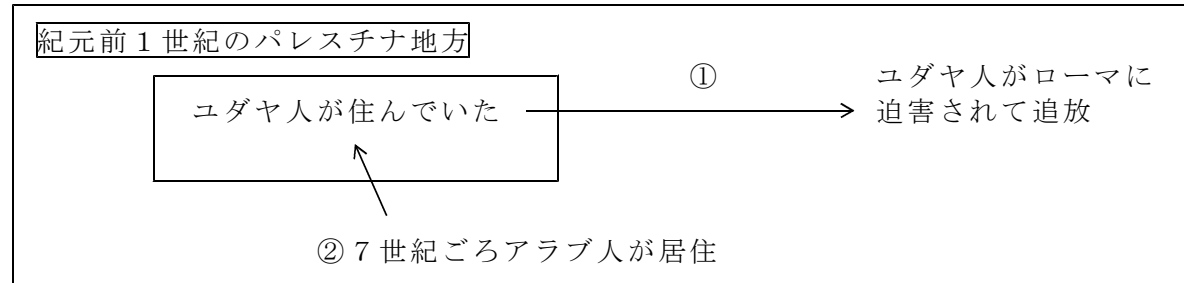


● **パレスチナ問題(現イスラエル周辺)**

ユダヤ人とアラブ人のパレスチナ地方(現イスラエル)への居住権をめぐる争い



19世紀になるとユダヤ人がパレスチナに帰る運動が始まる。

更に、第一次世界大戦中、イギリスの外交によりこじれる

その外交

対アラブ人：戦争協力すれば、アラブ人の国家と認める  
 対ユダヤ人：資金協力すれば、ユダヤ人の国家と認める

イギリスはアラブ人・ユダヤ人の協力で戦争に勝利

↓  
 イギリスは約束を全部無視

ユダヤ人はパレスチナに住んでいたアラブ人を戦いによって追い出し、ユダヤ人の国家(イスラエル)を建国(この戦いを**中東戦争**)

これをきっかけに対立は続いている  
 (1993年には**オスロ合意**と呼ばれる**和平案**の合意があったが、不安定な状況)  
 パレスチナをユダヤ人の地区とアラブ人の地区に分ける提案

● **旧ユーゴスラビア紛争**

冷戦終結後、内戦が始まり大混乱となる→特にボスニア・ヘルツェゴヴィナの独立

Qなぜ、冷戦終結後、内戦が始まったのか?

A.強い権力を持ったリーダー役だった旧ソ連が、経済的に苦しくなり冷戦後、外国への干渉をやめた

↓  
 ユーゴスラビアは、元々5つの民族からなる連邦国家だったが、カリスマ的指導者の死も原因となって各民族連邦からの独立運動が起きた。

(小国家のままでは旧ソ連に植民地にされそうだったので、カリスマ的指導者の下で、合同で国家を形成していた)

● **チェチェン紛争(ロシア)**

ロシアから独立を目指し紛争が続く

Qなぜ、独立したいのか?

旧ソ連崩壊後、多くの国が独立していった(ロシア・ウクライナ・タジキスタンなど11か国)

↓  
 チェチェンは独立できず(宗教・民族が**ロシア**とは違うにもかかわらず)

旧ソ連から独立した国の一つ  
 理由：資源が豊かなので、**力づくでロシアからの独立を阻止された**  
 この時のロシアのリーダーが現大統領のプーチン

● **ダルフル紛争(アフリカ・スーダン)**

スーダンに住む**アラブ人**と**非アラブ人(黒人系)**の対立  
 イスラム教 違う宗教

● **クルド人問題**

同じ民族であるがトルコ・イラクなどにまたがって住んでおり、独立を目指している

● **紛争の影響**

紛争を逃れ国を離れた人々(難民)の増加

↓  
 この人々を守る条約(難民条約)がある(1951年)  
 <国連にも保護する組織あり・**国連難民高等弁務官事務所**>